４　同訓異字の書き分け［表記］

　「あやまる」には、「まちがえる」と「わびる」の二通りの意味があります。漢字も、次のように、「まちがえる」は「誤る」、「わびる」は「謝る」と書き分けます。

　・操作を誤ったため、事故が起こる。

　・事故を起こしたことを謝る。

　このように同じ訓をもち意味が異なる漢字を同訓異字と言います。同訓異字は文脈の意味によって使い分けましょう。

　なお、同訓異字の中には、書き分けが明確でないものもあります。例えば、「足もと」の場合、「足下」と「足元」のどちらをあててもおかしくはありません。このような場合には、無理に使い分けず、仮名で書けばよいでしょう。

漢字の使い分け

あう

会　友人に会う　　立会人

合　意見が合う　　話し合う

遭　災難に遭う　　雨に遭う

あらわす

表　敬意を表す　　図に表す

現　姿を現す　　　手腕を現す

著　書物を著す

かえる

代　命に代えても　身代わり

変　予定を変える

替　商売を替える　着替え

換　金に換える　　乗り換え

かたい

堅　口が堅い　　　手堅い

固　団結が固い　　頭が固い

硬　硬い石　　　　表現が硬い

つとめる

努　解決に努める

務　案内役を務める

勤　会社に勤める

とく

解　問題を解く　　雪解け

説　教えを説く

はかる

図　充実を図る　　図らずも

計　時間を計る

量　容積を量る　　推し量る

測　距離や面積を測る

謀　暗殺を謀る

諮　審議会に諮る

レッスン１　次の傍線部にあてはまる漢字を、（　）の中から選んで○で囲みなさい。

⑴　地震による災害にそな（備・供）えて、救急用品を整えておく。

⑵　家族そろっての観光旅行で三日間ホテルにと（止・泊・留）まる。

⑶　前年度のチャンピオンが挑戦者にやぶ（破・敗）れた。

⑷　人の声がやかましくて、虫のな（泣・鳴）く声がよく聞きとれない。

⑸　お医者さんの言うことを聞いて、早くけがをなお（治・直）してください。

⑹　価値ある文化をなが（永・長）く後世に残すように努力すべきである。

⑺　犬を連れて散歩しているときに、犬をはな（放・離）してはいけない。

⑻　冷めてしまった料理を電子レンジでもう一度あたた（温・暖）める。

レッスン２　次の傍線部の漢字の使い方が正しい場合は○を、誤っている場合には正しい漢字を解答欄に書きなさい。

⑴　友人と語り会う。　 ［　　　］　⑹　平和の大切さを解く。　　 ［　　　］

⑵　予定を開けておく。 ［　　　］　⑺　会議で議長を勤める。　　 ［　　　］

⑶　天に昇る心地がする。［　　　］　⑻　大会が成功するように臨む。［　　　］

⑷　新聞に広告を乗せる。［　　　］　⑼　高校を卒業して職に着いた。［　　　］

⑸　伝説を硬く信じる。 ［　　　］　⑽　気が利かない人だろう。　 ［　　　］

レッスン３　次の傍線部にあてはまる漢字を解答欄に書きなさい。

⑴ⓐ今年の夏は特にあつい。 ［　　　］　⑶ⓐいくつかの例をあげる。 ［　　　］

　ⓑスープがあつい。　　　 ［　　　］　　ⓑ成績をあげる。　　　　 ［　　　］

　ⓒあつい壁にはばまれる。 ［　　　］　　ⓒてんぷらをあげる。　　 ［　　　］

⑵ⓐ50ｍ走のタイムをはかる。［　　　］　⑷ⓐ授業料をおさめる。　　 ［　　　］

　ⓑ悪事をはかる。　　　　 ［　　　］　　ⓑ実験は大成功をおさめた。［　　　］

　ⓒ運動能力をはかる。　　 ［　　　］　　ⓒ大学で医学をおさめる。 ［　　　］

　ⓓ紛争の解決をはかる。　 ［　　　］　　ⓓ国をおさめる。　　　　 ［　　　］

レッスン４　次の各文について、漢字の使い方の誤っているところが２か所ずつあります。誤っているところに傍線を引き、後の解答欄に正しく改めて書きなさい。

⑴　文化祭でピアノを引いた夢を見たが、失敗したところで目が冷めた。

⑵　値段をもっと提げてもらえれば、誕生日の送り物としても使えるのだが。

⑶　八月の始めに、母の生まれ故郷の古い町を尋ねました。

⑷　海岸添いに歩いていると、海から陸に向かって吹いてくる風で、帽子が跳んでしまった。

⑴［　　　］［　　　］

⑵［　　　］［　　　］

⑶［　　　］［　　　］

⑷［　　　］［　　　］

【解答】

レッスン１

　⑴備　⑵泊　⑶敗　⑷鳴　⑸治　⑹永　⑺放　⑻温

レッスン２

　⑴合　⑵空　⑶○　⑷載　⑸固　⑹説　⑺務　⑻望　⑼就　⑽○

レッスン３

　⑴ⓐ暑　ⓑ熱　ⓒ厚　⑵ⓐ計　ⓑ謀　ⓒ測　ⓓ図

　⑶ⓐ挙　ⓑ上　ⓒ揚　⑷ⓐ納　ⓑ収　ⓒ修　ⓓ治

レッスン４

　⑴引〔いた〕→弾　冷〔めた〕→覚　⑵提〔げ〕→下　送〔り〕→贈

　⑶始〔め〕→初　　尋〔ね〕→訪　　⑷添〔い〕→沿　跳〔んで〕→飛